

- 1 単元名（教材名）  
論理の展開（生き物として生きる）
- 2 単元について

（1）教材観

この教材は「読むこと」を通して最終的には「書くこと」につなげることをねらっている。学習指導要領によると、「読むこと」に関しては「文章を読み比べるなどして構成や展開、表現の仕方について評価すること」（ウ）とあり、「書くこと」に関しては、「論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして説得力のある文章を書くこと」（イ）とある。

説明文の内容は、導入、本文、まとめの三つに大きく分けられ、本文はさらに三つに分けられる。論理の展開を押さえ、適切な根拠に基づき主張していることに注目させる必要がある。

説得力のある文章を書くことについては、相手にとってわかりやすい文章の構成をする必要があり、説明文で学んだことを生かして学習させたいと考える。

（2）生徒の実態

説明文については、文章の構成や接続詞、文章の最初と最後に着目することで筆者の主張がとらえやすくなることに関して学習を行っており、ほぼ定着している。事実と考察の読み分けに関しても学習したが、考察の様々な文末表現については定着が不徹底である。

「書く」学習に関しては、自分で選んだ説明的文章から情報を抜き出し、自分の考えを加えてレポートとしてまとめる学習を二年時に行った。相手意識や効果的に伝えるという観点ではまだまだ学習の余地がある。

今年度は、総合的な学習の時間に「平和学習」と題し戦争や核について学び、レポートとして文化祭で発表した。文化祭テーマが「生きる」であり、様々な状況でも生きようとした先人たちの姿を各自が学習したことにより、「生きる」事に関して問題意識をもって臨むと考えられる。

（3）指導観

各教科を貫く国語力として「批判的思考力」を国語科では育みたいと考える。そのための教師側の整えるべきものとして「認め合う集団づくり」「討論学習の吟味」「学習課題の吟味」を課題として行ってきた。

しかしながら、「討論学習の吟味」についてはあまり指導してこなかったのが現状である。

本教材では根拠をもとに自分の意見を効果的に相手に伝える文章を書くことができることを目標とし、読むことによって効果的な表現を学習し、書くことにつなげていきたい。

文章の効果的な表現については既習事項をもとに、気づきや発見を大切にしたいと考える。そのために、単元の導入場面である1時間目に二つの文章を比べ読みし、効果的に意見を相手に伝えるための要素について確認を行いたい。また、自分の考えを仲間と交流することによってさらに思考を深めさせたい。その後、教科書を用いて根拠が主張を支えていることを再確認させたい。

「書く」に関しては、整理テストにおいてグラフから数値を根拠として説明する問題において主観的な表現をしている生徒が半数弱ほどいたこともあり、例示・比較・図やグラフ等の客観的な数字を用いることの効果についても触れ、書くことにつなげていきたい。

### 3 単元の目標と評価規準

	単元の目標	単元の評価規準
国語への関心・意欲・態度	人間と科学技術のあり方について考えながら、主張のまとめ方をつかもうとしている。	文章の構成に着目し、段落の要点をまとめたり、段落相互の関係をつかんだりしながら文章をまとめようとしている。
読む能力	筆者の論理の展開を的確にとらえ、筆者の主張の根拠を読み取ることができる。	論理の展開のしかたをとらえ筆者の主張の根拠を的確に指摘している。
書く能力	論理の展開や構成を工夫して意見を書くことができる。	理由や根拠となる資料を引用して批評の文章を書いている。
言語についての知識・理解・技能	段落の役割や接続の關係に注意することができる。	段落相互の關係に留意して、文章を組み立てている。

### 4 指導と評価の計画（生き物として生きる）

時間	学習活動	評価規準		
		国語への関心・意欲・態度	書く・読む能力	言語についての知識・理解・技能
1 本時	文章を読み比べることに より、構成と論理の展開 をとらえる。		説明文の主張やそれを 支える根拠を読み取っ ている。 【読む】	
1	教科書本文を読み、内容 に関して自分の意見をま とめる。		大まかな内容をとら え、感じたことを整理 している。 【読む】	文章に用いられている 漢字を正しく読んでい る。
1	文章を内容からまとめ りに分け、見出しをつ ける。	学習の中で気づいたこと をワークシートに記入し ようとしている。	文章のまとめりに着目 して読み、構成と論理 の展開をとらえてい る。 【読む】	
1	「機械」と「生き物」「人 間」の対比の箇所を探し 違いを読み取る。		「機械」と「生き物」 についてどう述べてい るか読み取っている。 【読む】	
1	まとめの部分をよみ、「生 き物」について筆者の考 えを確認する。	根拠についてまとめよう としている。	筆者の主張を読み取 り、その根拠をとらえ ている。 【読む】	
1	筆者の主張に対し、一つ の立場から根拠を明確に して意見を述べる。	文章を評価しながら読 み、自分の意見を持とう としている。	根拠を明確にし、自分 の考えをまとめている。 【読む】	

(説得力のある文章を書こう)

1	テーマ例を手がかりとして主張する事柄を決め、根拠になりそうな情報を集める。	積極的に資料を集めようとしている。	主張に対する根拠としてどんなデータが説得力を持つか考えている。 【書く】	
1	自分の主張について、説得力のある根拠と具体的な提案を用意する。		主張・根拠・提案の関係を理解し、自分の意見を整理している。 【書く】	
1	提案の内容と根拠をグループで発表し合い、客観的に見直す。		どのような順序で主張するのが効果的か、論の構成を考えている。 【書く】	言葉のニュアンスを知り、適切な語句を選択している。
1	構成を工夫して意見文を書く。		構成案をもとに、意見を文章にまとめている。 【書く】	漢字を適切に使って文章を書いている。
1	意見文を読み合い、気づいたことを話し合う。	友達の意見も参考にし、説得力のある書き方に気づき、自分の文章に生かそうとしている。	友達の意見のどこがよかったか、具体的に箇所を指摘しながら感想を書いている。【書く】	

## 5 本時の指導

### (1) 目標

関心のある事柄について批評する文章を書くために、文章を読み比べて構成や展開、表現のしかたについて注意して読むことができる。【読む ウ】

### (2) 本時の指導構想

国語科における「豊かな表現力」とは、根拠を明らかにした読み取りをもとに適切に話したり、書き表したりする力ととらえた。

そこで、本単元では情報を正しく読み取って活用し、さらに根拠をもとにさらに情報を発信することを主眼とした。

導入部にあたる読みの1時間目の本時では自作した二種類の説明文を用いて比べ読みを行うことにより、興味関心を喚起し、今後の深い読み取りや書く活動につなげたいと考える。

説明文の根拠については客観性を持った例と持たない例とを用い、普段意見を述べる際の根拠が本当に妥当性をもっているかという問題提起としたい。

### (3) 本時の具体の評価規準

評価規準	具 体 の 評 価 規 準		努力を要する生徒への具体的支援 (C)
	十分満足できる状況 (A)	おおむね満足できる状況 (B)	
読む能力	説明文の構成や展開、表現の仕方などの特徴や効果をまとめ、評価している。	二つの文章の違いを比べ、主張やそれを支える根拠を観点として読み取っている。	説明文の主張やそれを支える根拠を読み取るよう支援する。

(4) 本時の展開

	学習過程・学習活動	留意事項・評価	資料
導入 3分	<p>1 課題把握</p> <p>(1) 課題づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明文を学習する際に大切な事項を想起する。</li> </ul> <p>(2) 課題の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題をつかむ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成、接続語、主張、根拠等を確認する。</li> </ul> <p>課題を指示し、学習の見通しを持たせる。</p>	学習シート 1
	<p>文章を読み比べ、説得力のある文章の特徴をとらえよう</p>		
展開 4 2 分	<p>2 課題追求</p> <p>(1) 課題解決方法の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二つの説明文を読み比べ、どちらが説得力があるか、また、なぜ説得力があるかその理由をあげることを確認する。</li> </ul> <p>(2) 追求</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆一人学びによって課題を追求する。</li> <li>・四人グループによって課題を追求する。</li> </ul> <p>3 課題解決</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆四人グループで話し合ったことをもとに全体で課題解決を図り、文章の構成や表現の工夫についてとらえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指摘する観点を示す。 ○構成 ○主張 ○根拠 ○例示 ○考察 ○引用 ○文末表現</li> <li>・上記の観点が達成されているか観察を行いながら指導する。</li> <li>・説得力のない箇所を指摘する。また、その理由について明らかにするよう指示する。</li> </ul> <p>【読む】 説明文の主張やそれを支える根拠を読み取っている。 論理の展開の仕方をとらえている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習シートを工夫し、発表しやすいようにする。</li> </ul>	学習シート 2
終末 5分	<p>4 本時の学習のふり返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の感想を書く。</li> <li>・自己評価をする。</li> </ul> <p>5 次時の予告</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業でわかったことを書かせる。</li> <li>・自己評価シートに記入させる。</li> </ul>	自己評価 シート

作業手順  
 (4) 本時の展開

	付箋配布 氏名書かせる		
3分	1 課題把握		学習シート 1
30	①単元の流れの確認 「この単元の流れを確認します。 「最終的に書くことをします。	紙 を貼る	
10	②本時の流れの確認	目標 貼る	
90	③説明文読む際 気をつけること	三枚 貼る ④ペアで確認 赤マジックで記入	
3分	⑤内容の確認をします。 A B 両方に目を通して 読みやすい方を中心として 学習シートの 1 2 3 に記入をします 時間は早ければ早いほどいいです。 長くて5分です 始めなさい。	⑥「問題提起」「事実」「主張」貼る	
1~2	⑦ では確認をします。 さん。 問題提起は？ さん 事実は？ さん 主張は？ さん (とらえるのに時間がかかった人もいますが、確認した はじめ・おわり) 等をすればすぐにとらえられます。	テンポよく	
	⑧ A B どちらが説得力がありましたか 挙手	・	
	十分以内		
5615	⑨「なぜAは説得力がないのだろう」 Aの本文に線を引いてください。 ★表現・構成・例示 等に気をつけ る ここからは隣の人からきいたり、のぞき込んでもかまいません。 その後、四人で対話しますので隣の人とだけ対話してください。	・ 貼る ★表現・構成・例示 等に気をつけ る 板書	
5	⑩グループ対話	なぜよくないか は 必ず なぜよくないか 全員き	

<p>展 開</p> <p>4 2 分</p>	<p>⑪ ★<u>思う</u></p> <p>★★段落の場所</p> <p>★★★<u>数が入られている</u></p> <p>⑫→三つの例を示す</p> <p>「この表現をするとき」 三つ種類の人々のだれにしますか。 付箋をつけて</p> <p>⑬その理由は</p> <p>⑭ とうかつ びかつ そうかつ</p> <p>⑮ 主張に賛成 反対 一部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指摘する観点を示す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○構成</li> <li>○主張</li> <li>○根拠</li> <li>○例示</li> <li>○考察</li> <li>○引用</li> <li>○文末表現</li> </ul> </li> <li>・上記の観点が達成されているか観察を行いながら指導する。</li> <li>・説得力のない箇所を指摘する。 また、その理由について明らかにするよう指示する。</li> </ul> <p>【読む】 説明文の主張やそれを支える根拠を読み取っている。 論理の展開の仕方をとらえている。</p> <p>「本時・・・ 比較して 根拠として不適切な表現」</p>	<p>学習シート 2</p>
<p>終 末</p> <p>5 分</p>	<p>4 本時の学習のふり返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の感想を書く。</li> <li>・自己評価をする。</li> </ul> <p>5 次時の予告</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業でわかったことを書かせる。</li> <li>・自己評価シートに記入させる。</li> </ul>	<p>自己評価 シート</p>

# A

## 日本の子供たちと、世界の子供たち

- ① 今、この世界には多くの国があり、私たちの住んでいる日本もその一つである。
- ② 世界の中でも日本に住む子供たちは恵まれているといえよう。毎日食えることができ、学校に通って部活動もでき、万が一病気になるればすぐに病院にも行ける。私たちはこの状況をありがたいと思わねばならない。
- ③ 世界の国々の中には多くの国々が貧困によって苦しんでいると思う。その国々は貧困によりどんな問題を抱えているのだろう。
- ④ まず、食事についてである。食事を毎日きちんととれない貧しい国の子供たちは世界にたくさんいると思う。「食事がとれない結果、生きていくための栄養が不足して体力がなくなりちょっとした病気にかかって死んでしまうと思う。しかし、日本ではスーパーで毎日賞味期限切れの商品が山のように捨てられているのである。
- ⑤ また、学校へ通えない子供たちもたくさんいると思う。日本の子供達のようにスポーツや音楽を楽しんだりするなんてとんでもない。いくら勉強して字が読めるようになりたくても、計算ができるようになりたくても学校へいけないと思う。学校に行く時間はないと思う。
- ⑥ このように、世界には今この時も栄養失調で苦しんだり、病気で命を失ったりして辛い思いをしている子ども達がたくさんいると思う。だから、日本に生まれたことに感謝して過ごすべきである。そして、今は中学生だから全く何もできないが、大人になったら世界の子ども達が幸せに暮らせるように力を貸してあげるべきである。
- ⑦ さらに、病気で命を落とす子供達も世界にはたくさんいると思う。日本の子供達はちよつと熱が高いと親がすぐに病院に行くことができ薬をもらう。そして、病気を予防する注射もうってもらえる。けれども、病気になるっても医者も薬もなく、死んでいく子ども達がいると思う。こうしている間にも、たくさんの子ども達が世界のどこかで死んでいるのではないかと思う。
- ⑧ 貧困により食べ物や教科書やノート、鉛筆さえ買えない子供もたくさんいると思う。きっと友達と一緒にかけっこをしてみたいと思っっていることだろう。

# B

## 日本の子供たちと、世界の子供たち

- ① 今、この世界には二〇〇あまりの国があり、私たちの住んでいる日本もその一つである。
- ② 日本では毎日自由に食べることができ、学校に通うことができ、万が一病気になればすぐに病院にも行ける。だから、日本に住む子供たちは何かにつけて恵まれていると言える。
- ③ しかし、世界には貧困によって苦しめる国々があり、その数は四〇カ国以上にのぼり、その多くがアフリカにある。では、その国々は貧困によりどんな問題を抱えているのだろうか。
- ④ まず、毎日の食事が十分にとれないことがあげられる。地球上の人口は約七〇億人であり、そのうち貧困を抱えた国の人口は十二万人である。詳しく言うと、五人に一人が一日一ドル（七十九円）未満の生活をしている。そのため、十分な食事ができず栄養状態が良くないのである。
- ⑤ また、栄養不足に加えて医療に手が回らないことによる乳幼児の生存率の低さの問題もある。一〇〇〇人の子どものうち八十七人が五歳未満で死んでいるのである。なんと三秒に一人が亡くなっている計算である。（ちなみに、先進国は一〇〇〇人の子どものうち六人である。）
- ⑥ 子ども達が学校へ通えないという問題もある。貧しい国では子どもは労働力である。砂漠地帯では自動車もポンプもないので水汲みもすべて手作業である。大人一人で一〇〇リットル汲み、子どもがその半分を汲めるとすると子供が五人いれば二五〇リットル汲めることになる。親の仕事を手伝い、小さな弟や妹の世話をしなくては家族みんなが生きていけないのである。
- ⑦ 貧困は単に所得が低いために食料が手に入らず医療も受けられないという問題だけではない。学校にも行けずつきたい職業にも就けないため、いつまでたっても貧困から抜け出せないのである。
- ⑧ このように世界には貧困により苦しんでいる子供達がたくさんいる。だから、日本に生まれたことに感謝して過ごすべきである。そして、今は中学生だから全く何もできないが、大人になったら世界の子ども達が幸せに暮らせるように力を貸してあげるべきである。



文章を読み比べ、説得力のある文章の特徴をとらえよう。

学習シート

番 氏名

1 筆者の主張はなんですか。

日本に生まれたことに感謝し、大人になったら世界の子ども達に力を貸すべきだ。

2 主張はどんなことを根拠（理由）としてのべていますか。根拠をあげなさい。

貧困の国では

- ・ 食事が十分でない
- ・ 学校へ通えない
- ・ 医療が不十分

A・Bの方（○をつける）が説得力のある文章である。

★課題追求では、なぜ \_\_\_\_\_ は説得力がないのだろうか？

- ① 説得力がないと思われる箇所（本文）にサイドラインを引こう。
- ② まとめよう。

段落等	例 1段落
どういう点がよくない？（表現・構成・例示等）	・・・・・・・・○○○○○ ▲△（表現）

文章を読み比べ、説得力のある文章の特徴をとらえよう。

番 氏名

1 問題提起は？

2 どんな問題（事実Ⅱ根拠）をあげている？

3 筆者の主張は？

ズバリ！



A・Bの方（○をつける）が説得力のある文章である。

★課題追求

なぜ \_\_\_\_\_ は説得力がないのだろうか？

- ① 説得力がない文章の説得力がない箇所に（本文）サイドラインを引こう。
- ② 左の表にまとめよう。

段落等	どういう点がよくない？ （表現・構成（順番）・例示 等）
例 1 段落	例 1 ○○という表現 ……理由 のため。
例 2	Cには ……理由 のため。
	重要
	重要
	重要
	重要
	重要
	重要
	重要

## 評価

一 二つの文章の違いに気づこうとしたか。 ※○をつける。  
4 3 2 1 (4が最高)

二 二つの文章の違いを比べ、主張やそれを支える根拠の存在を確かめることができたか。

4 3 2 1

わかったこと・気づいたこと を書きましょう。

--	--	--	--